

「特別の教科 道德」に対する 教員の意識と取り組み

— 道德教育に関する全国アンケート調査の結果に基づいて —

東京学芸大学 上廣道德・倫理教育研究開発推進室

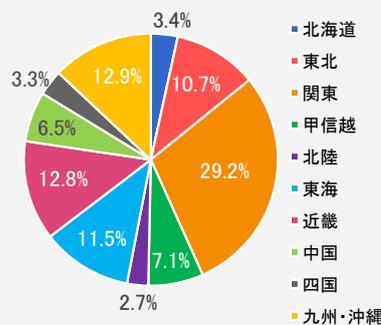
範 蘭心(東京学芸大学) 永田 繁雄(東京学芸大学)

1 回答者について(N=1527)

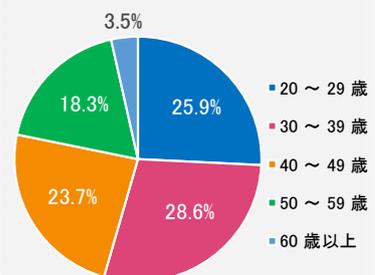
(1) 勤務する 学校種と学年

	小学校	中学校	義務教育 学校	中等教育 学校
<i>n</i>	839	671	14	3
%	54.9	43.9	0.9	0.2

(2) 学校所在地域

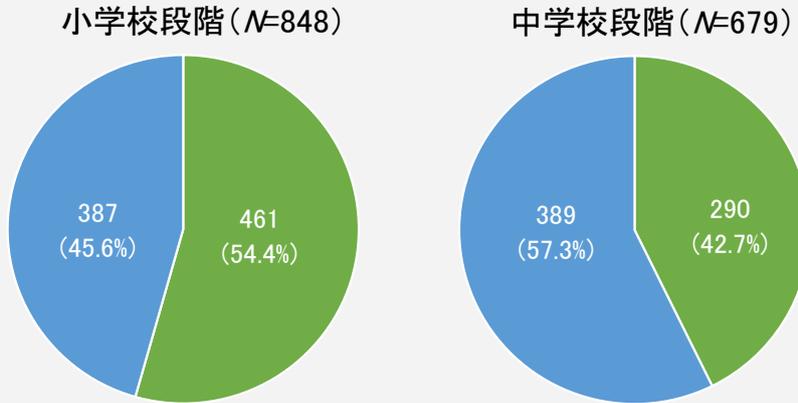


(3) 年齢層



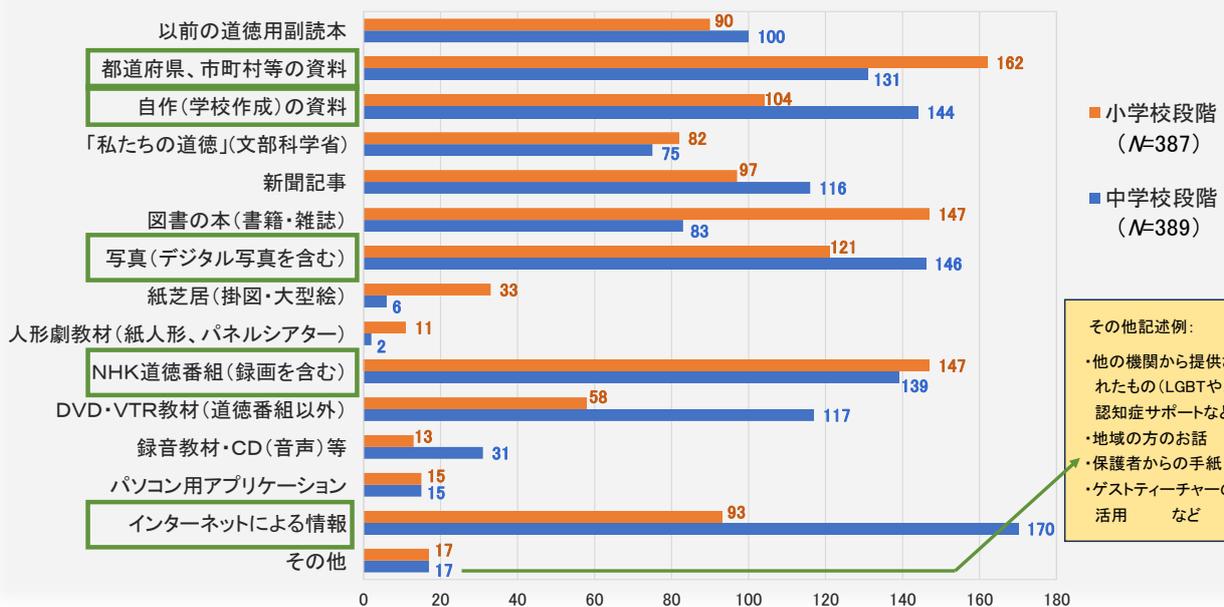
2 道徳の授業における取組

(1) 授業で使用する中心教材



- 1時間の授業の中心教材としては、教科書のみ使用している
- 1時間の授業の中心教材として、教科書以外も使用することがある

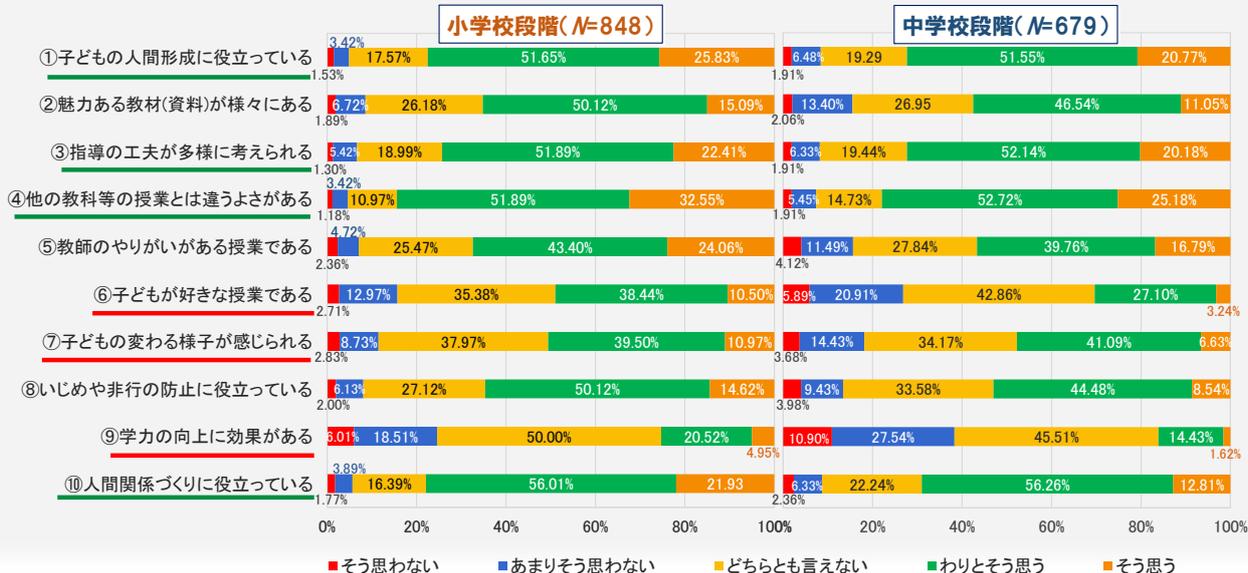
(1-2) 教科書以外で使用する教材



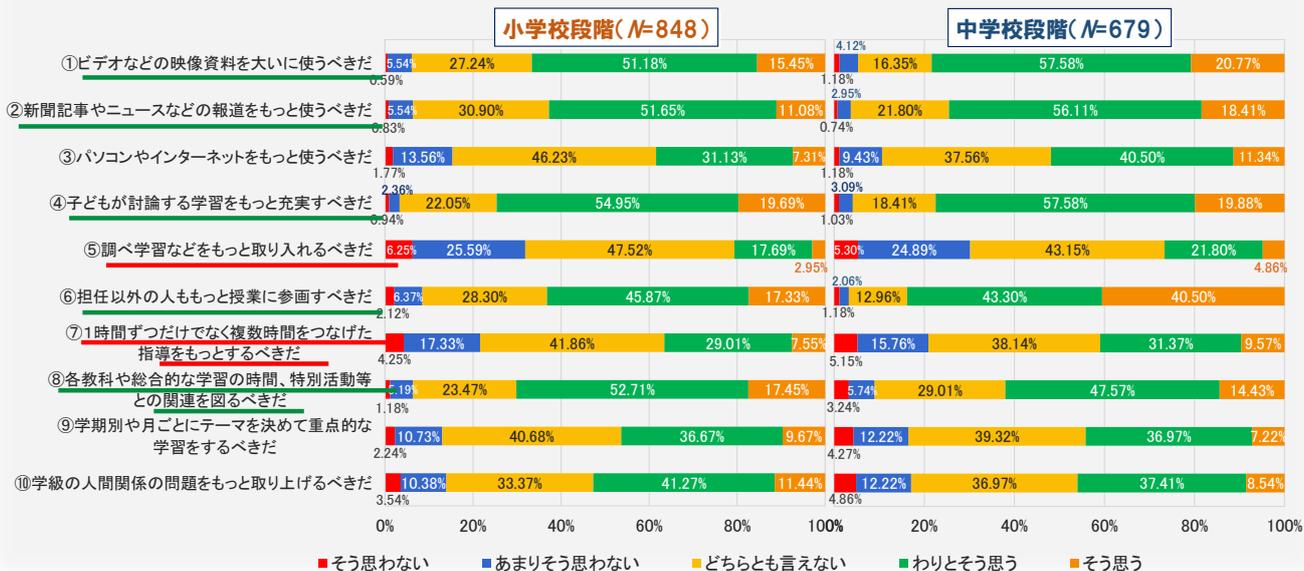
その他記述例:
 ・他の機関から提供されたもの(LGBTや、認知症サポートなど)
 ・地域の方のお話
 ・保護者からの手紙
 ・ゲストティーチャーの活用 など

3 道徳の授業について感じること

(1) 道徳の授業に対する印象

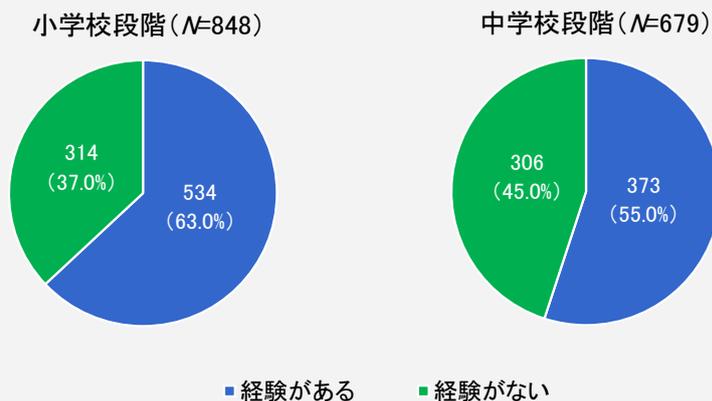


(2) 多様な指導のあり方に対する考え



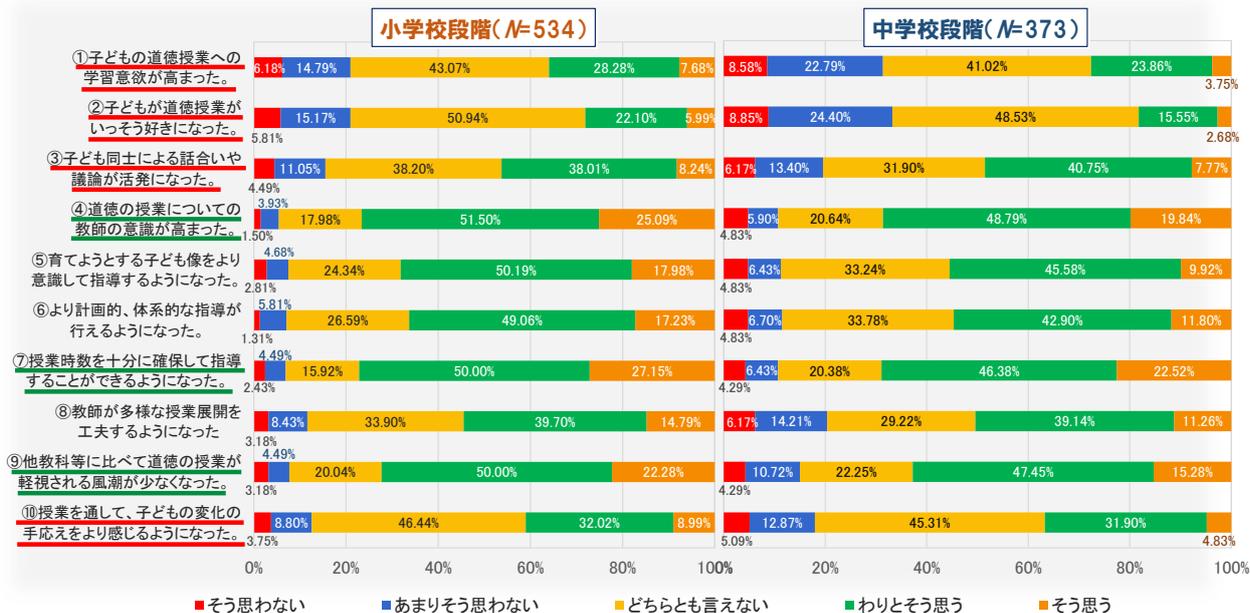
4 道徳の時間から「道徳科」への変化について

(1) 以前の「道徳の時間」(教科書を使用しない頃)の指導経験



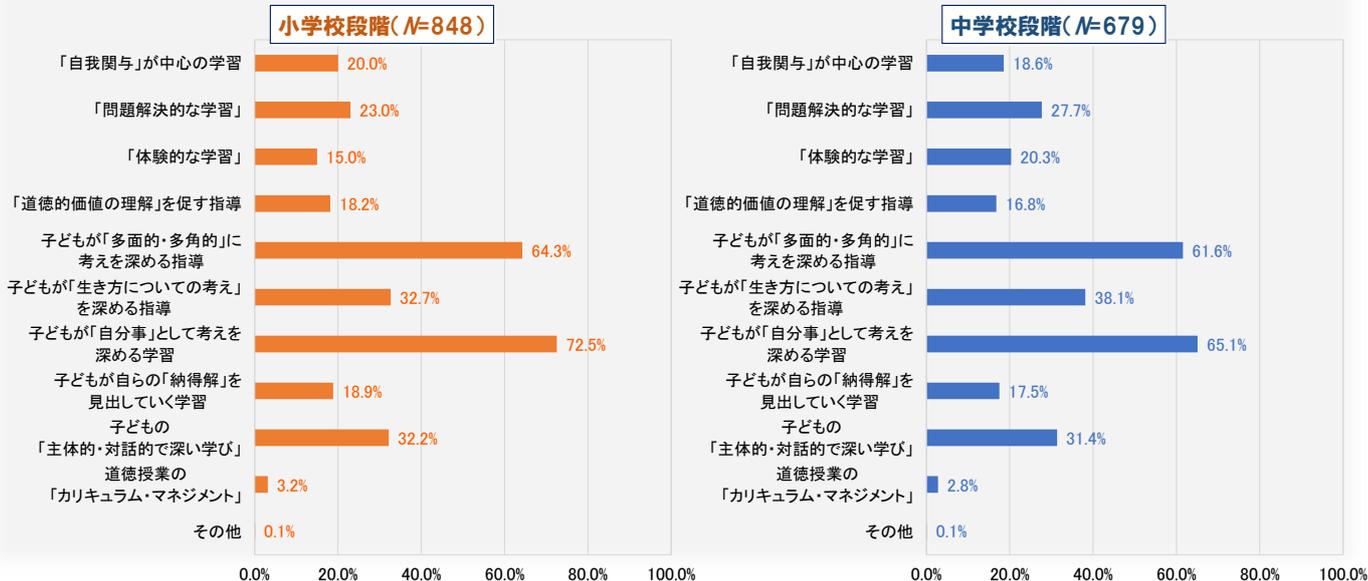
RESEARCH PRESENTATION

(2) 道徳の時間が「特別の教科」である道徳科になって変わったこと



6 道德の授業の充実についての考え

(1) 道德科の質的改善について特に重視したいと考えること(3つ)



(2) 社会的な課題や子どもの心の成長に関わる課題の中で特に重視したいと考えること(3つまで)

